

自己評価結果公表シート

1) 認定こども園帯広の森幼稚園の教育目標

自然や身近なものに関心をもち、遊びを中心とした生活を通じて21世紀をたくましく生きぬく幼児の育成
 ◎丈夫な体の子どもを育てる ◎仲良く遊べる子どもを育てる ◎自分で考える子どもを育てる
 【めざす子ども像】『生きる力を身につけた 明るく たくましい子ども』
 生きる力⇒丈夫な体, 豊かな心, 考える力

2) 本年度の重点的に定めた教育目標

- ・豊かな自然を活かした幼稚園運営を行う。
- ・子どもの成長を大切にしたい園行事の充実・保育内容の実践に努める。

3) 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目 【自己評価平均】	評価内容	自己評価と保護者アンケートの結果 職員 — 保護者 —															
教育目標 【4.4】	①幼稚園は、子どもの健康維持や体力向上など、じょうぶな体づくりに努めていますか。 ②幼稚園は、子どものやさしい心や思いやりの心の育成に努めていますか。 ③幼稚園は、子どもの主体性を大切にしながら考える力の育成に取り組んでいますか。	<table border="1"> <caption>自己評価と保護者アンケートの結果 (教育目標)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>職員</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>4.6</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.3</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>4.4</td> <td>4.4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	職員	保護者	①	4.6	4.5	②	4.3	4.5	③	4.4	4.4			
項目	職員	保護者															
①	4.6	4.5															
②	4.3	4.5															
③	4.4	4.4															
関係者の意見を踏まえた考察	今年度は行事を精選し、子どもたちの活動にゆとりをもって「外遊びの充実」を目指してきました。遊びの時間を増やしたことによる子どもたちの体力向上や、自然の中での遊びを通じた豊かな感性の育成に、職員の自信と、保護者からの評価が表れています。次年度は「縦割り保育」での遊びの充実を図り、子どもらしい自由な活動を通して、「自分で考える」「友達と助け合う」機会を増やして、主体性や協同性を育成していきます。																
教育課程 【4.5】	①幼稚園は一人一人の子どもの個性や特性、よさを大切に、寄り添った保育やその伸長に努めていますか。 ②幼稚園は、挨拶や返事など、基本的な生活習慣の指導に努めていますか。 ③幼稚園は、子どもの成長にふさわしい完全給食の体制や食育の推進に努めていますか。 ④子どもは毎日楽しく幼稚園に通っていますか。	<table border="1"> <caption>自己評価と保護者アンケートの結果 (教育課程)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>職員</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>4.4</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.4</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>4.7</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> </tr> </tbody> </table>	項目	職員	保護者	①	4.4	4.5	②	4.4	4.5	③	4.7	4.7	④	4.6	4.6
項目	職員	保護者															
①	4.4	4.5															
②	4.4	4.5															
③	4.7	4.7															
④	4.6	4.6															
関係者の意見を踏まえた考察	日々の教育課程で個々の目標を大切に成長を認めていることが評価され、子どもたちも毎日楽しく幼稚園に通うことができています。また、食育の推進は保護者からも高い評価を得ており、本園の特長のひとつと考えます。今後も一人一人の子どもの寄り添い、家庭と連携した教育・保育に取り組みながら、より多くの意見を尊重できるよう懇談会やアンケート等で意見を集約するとともに、気軽に考えを伝え合える「開かれた園」を目指します。																
園の運営 【3.9】	①幼稚園は、個々の業務の改善に努め、過重な働き方にならないよう努力をしていますか。 ②幼稚園は、職員間の信頼関係・協働関係・共通理解を大切にしていますか。	<table border="1"> <caption>自己評価と保護者アンケートの結果 (園の運営)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>職員</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>3.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	職員	保護者	①	3.8	-	②	4.0	-						
項目	職員	保護者															
①	3.8	-															
②	4.0	-															
関係者の意見を踏まえた考察	今年度より幼保連携型に移行し、全職員で全ての業務にあたる中、担任同士が話し合う時間が減り、働き方の改善や職員の協働体制が十分ではなかった点は大きな課題だと捉えています。次年度はクラスや学年担任同士で顔を合わせ、きめ細かい連携ができるように、シフトや勤務時間の工夫をしていきます。また、ICTも効果的に活用し、業務の負担を軽減するとともに、職員が連絡を密に取り合って連携できるように改善していきます。																

評価項目 【自己評価平均】	評価内容	自己評価と保護者アンケートの結果 職員 — 保護者 —												
環境・衛生・安全確保 【4.1】	<p>①幼稚園は、園内外の環境整備や遊具、用具の保全や整理に努めていますか。</p> <p>②幼稚園は、子どもの安全確保に取り組むとともに、怪我や病気について、誠意をもった対応に努めていますか。</p> <p>③幼稚園は、バス運行について、安全面や運行経路などに配慮して、安全運行に努めていますか。</p>	<table border="1"> <caption>自己評価と保護者アンケートの結果 (環境・衛生・安全確保)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>職員</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>4.0</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.3</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>4.0</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	職員	保護者	①	4.0	4.4	②	4.3	4.3	③	4.0	4.3
項目	職員	保護者												
①	4.0	4.4												
②	4.3	4.3												
③	4.0	4.3												
関係者の意見を踏まえた考察	<p>子どもたちの安全確保については常に緊張感をもって取り組み、厳しく自己評価しています。今年度は遊具をはじめとした環境を整え、子どもたちが安心して自発的に遊べるように働きかけました。また、年間10回の避難訓練や性教育も実施しました。職員の救急救命研修も行い、緊急場面で子どもたちの安全第一に行動できるように訓練しています。バス運行についてはアプリも活用して、園児と保護者が安心して利用できるよう努めていきます。</p>													
研修・指導 【4.4】	<p>①幼稚園は、園内研修や各種研修会への積極的な参加に努め、報告・交流活動を行っていますか。</p>	<table border="1"> <caption>自己評価と保護者アンケートの結果 (研修・指導)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>4.4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	職員	①	4.4								
項目	職員													
①	4.4													
関係者の意見を踏まえた考察	<p>週1回園内研修の時間を設けたほか、月1回の研修会議や、北見市や音更町の公開保育に参加するなど多くの職員が研修を深めた1年でした。また、特別な支援を必要とする園児への対応についても職員の学びを深めました。次年度は北海道私立幼稚園研究大会の道東ブロック公開保育園として、本園の取組を公開する年です。研修時間をしっかり確保して専門的な知識を深め、今日的な課題を共有してこれからの保育・教育に繋げていきます。</p>													
保護者・地域との連携 【4.4】	<p>①幼稚園は、ホームページやお便り、学級懇談などで、保育方針や計画、子どもの様子を伝えていますか。</p> <p>②幼稚園は参観日や行事などを通じて、過重とならないよう配慮しながら開かれた幼稚園づくりに取り組んでいますか。</p>	<table border="1"> <caption>自己評価と保護者アンケートの結果 (保護者・地域との連携)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>職員</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>4.6</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.2</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>	項目	職員	保護者	①	4.6	4.4	②	4.2	4.5			
項目	職員	保護者												
①	4.6	4.4												
②	4.2	4.5												
関係者の意見を踏まえた考察	<p>これからの幼稚園は保護者や地域に開かれたものかわっていく必要があります。参観日や行事のあり方など、保護者のニーズを踏まえながら、誰にとっても過重とならないように努めていきます。また、ホームページやお便り、連絡帳やアプリ、懇談会などそれぞれの役割を最大限に生かしながら保護者・地域との情報共有を図り、職員の業務の改善を踏まえた上で、よりよい方向性を探っていきたいと考えます。</p>													

自己評価結果・保護者アンケートの表示方法

A:5点 B:4点 C:2点 D:1点 として、平均値を算出

令和7年2月28日
 学校法人帯広葵学園
 認定こども園帯広の森幼稚園
 園長 伊賀 真美